

令和4年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

| | |
|---------------|---|
| (1)施設名 | サイデン化学アリーナさいたま(さいたま市記念総合体育館) |
| (2)施設概要 | <p>①所在地 さいたま市桜区道場4-3-1</p> <p>②施設の設置目的 市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図る。</p> <p>③施設の概要 平成15年6月1日開館 建築面積 13,894.53㎡ 建物面積 17,739.75㎡ メインアリーナ、サブアリーナ、多目的室、温水プール、トレーニング室、フィットネススタジオ、弓道場、ランニングコース、会議室、研修室 他</p> |
| (3)指定管理者 | <p>スポーツのまち さいたまパートナーズ ※代表企業 コナミスポーツ(株) 構成企業 日本メックス(株)、(株)埼玉新聞社</p> |
| (4)指定期間、指定管理料 | <p>①指定期間 平成30年4月1日～令和5年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和2年度:168,491千円、令和3年度:142,845千円、令和4年度:128,346千円</p> |
| (5)施設の管理運営の内容 | <p>①運營業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況(括弧内は前年度の数值) 【利用件数】170,214件(前年151,813件) 【利用人数】382,382人(前年275,317人) 【利用率】メインアリーナ:79.0%(65.7%)、サブアリーナ:80.6%(70.9%)、多目的室:69.6%(62.6%) ◇業務実施状況 ・利用者登録及び申込み受付業務(施設の利用許可) ・公共施設予約システムによる貸出し管理 ・事業計画書に基づく業務(市民スポーツの普及・支援・指導など)</p> <p>②維持管理業務の状況 ・消防設備点検 年2回 ・自家用電気工作物点検 月次・年次 ・大型空調機保守点検 月1回 ・エレベーター保守点検 月1回 ・自動ドア保守点検 年1回 ・事業系一般廃棄物収集運搬業務 週3回 ・産業廃棄物収集運搬処理業務 年1回 ・自動制御設備点検 年1回 ・中央監視装置総合点検 年1回 ・建築設備定期検査 年1回 ・特殊建築物定期調査 3年に1回 ・プール水水質検査 月1回 ・プール濾過設備保守点検 年2回 ・プール可動床保守点検 年1回 ・体育器具保守点検 年1回</p> <p>③その他(自主事業等) スポーツ教室(プール教室、空手教室、チアダンス、キッズダンス、初心者卓球教室、親子体操教室、弓道教室等)の開催、スポーツフェスティバルの開催、無料開放事業(エンジョイサタデー)の開催</p> |

| | |
|---------------------------------|--|
| (6) 収支状況 | ①収入 ・利用料金収入 86,000千円（前年度 80,448千円） ・指定管理料 128,346千円（前年度 142,845千円） ②支出 ・人件費 117,687千円（前年度 106,566千円） ・事務費 28,888千円（前年度 32,014千円） ・施設管理費 141,536千円（前年度 100,363千円） 【自主事業】 ・収入 34,747千円（前年度 28,889千円） ・支出 13,622千円（前年度 13,461千円） |
| (7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応 | 令和4年11月11日～11月30日と令和4年12月1日～12月15日の2回実施した。故障していたトレーニング器具等の修理対応や、体育館用具の修理でバスケットゴール修理等市民の要望を反映した。 |
| (8) その他 | |

2. 提案内容の達成状況

（指定管理者から提案のあった項目の達成状況）

| 提案内容 | 達成状況 |
|--|---|
| 年2回イベントを開催することで、市民のスポーツへの関心を高める。 | 昨年に続きスポーツフェスタの実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、屋外でのノルディックウォーキングや中庭を利用した屋外運動教室に縮小した。また、毎月1回土曜日にサブアリーナを開放し、無料でバドミントン・卓球・トランポリン等が利用できるよう定員を設けて開催するエンジョイサタデーを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため3回のみの実施となった。 |
| 地域連携事業年7回開催し、施設を利用したことのない方にきっかけづくりを行う。 | 職場体験学習として中学校3校からの受け入れを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1日の職場体験となった。また、桜区民まつり・ミニ桜区民まつり事業も規模を縮小しての開催となった。 |
| 教室開催5,400教室開催し、スポーツ実施する機会の創出を図る。 | 年間5,400教室を超える自主事業の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の為年間5,296教室の開催となった。 |
| スポーツコミッションと連携をはかる。 | 年4回（5月・9月・1月・2月）の打ち合わせを行い、誘致大会の開催内容等について意見交換をした。 |

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】

- ・市民ロビーにさいたま市桜区のシンボルでもある、「さくら草」に関する地元市民撮影の写真展等開催した。また、市内の特産品「うなぎ」の飲食店等のパンフレットを継続して設置し、さいたま市の情報を発信した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大を受け、継続して、安全・安心に利用できる施設であることを施設の写真とともに埼玉新聞の紙面に掲載し、利用促進を図った。
- ・安全重視として月1回の安全ミーティングを実施し、AED&CPR講習も随時行った。その成果もあり、プール内での体調不良者への的確にAED処置を行い、さいたま市より感謝状を授与された。

【経費の削減】

- ・光熱費削減のため、各諸室内の電気を使用後は消灯した。メインアリーナの照明LED化により電気使用量が削減された。また、令和5年度に予定しているサブアリーナのLED照明交換に向けて準備をした。職員のみ使用する資料は白黒印刷にしてコストを削減している。

【適正な管理運営の確保】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、継続して受付時の飛沫防止シート作成や、トレーニング機器1台ごとに飛沫防止枠を設置して、これまで以上に安全な施設運営づくりに努めた。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局スポーツ部スポーツ振興課)

総合評価 (B)

1 個別評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】

- ・ノルディックウォーキングや中庭を利用した運動教室など、新型コロナウイルス感染拡大の中でも実施できるイベントを開催し、市民利用の促進を図った。
- ・トレーニング器具やバスケットゴールの修理を行い、市民の安全利用を確保した。

【経費の削減】

- ・円滑で無駄のない予算執行を心がけ、未使用施設の消灯を徹底するなどの節電努力により、引き続き電気料金削減に努めた。

【適正な管理運営の確保】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、また、協定書等に従って業務を適切に履行し、施設点検等を行った。

2 総合評価

- ・新型コロナウイルス感染拡大の中で、屋外でスポーツ教室・イベントを開催するなどして、スポーツ・レクリエーションの振興に寄与した。
- ・他施設、他自治体での指定管理者経験を生かし、適正な施設管理が行われた。施設の整備を積極的に行い、施設の安全性の確保、設備の保全に努めた。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

- ・利用者の安全確保、利用者の利便性の向上とサービス品質の向上
- ・利用者アンケートを踏まえた利用者の満足度の向上
- ・危機管理体制の再確認
- ・情報セキュリティ体制の再確認